

カルメン・マキ vocal, 朗読  
FALCON guitar

2022 09月30日 (土)

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替無)(1drink=600~)

MC=4000+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



## カルメン・マキ

アメリカ人の父と日本人の母の間に生まれる。1968年、高校を中退して寺山修司主宰の劇団「天上栈敷」に入団。同年、初舞台の「書を捨てよ街に出よう」で注目され、歌手としてCBSソニーと契約、カルメン・マキとしてデビューする。翌年、デビュー曲『時には母のない子のように』が大ヒット。寺山修司や武満徹、クニ河内、谷川俊太郎らが曲や詞を寄せ、『私が死んでも』『戦争は知らない』などのヒット曲を出した。70年にロック転向を宣言。「カルメン・マキ&タイムマシーン」「カルメン・マキ&ブルース・クリエイション」を経て72年、春日博文らとともに「カルメン・マキ&OZ」を結成。75年のファーストアルバムは、高い音楽性と完成度、マキの歌唱力によって10万枚以上を売る大ヒットとなった。その後2枚のアルバムをリリースしてOZは解散。79年に渡米してソロアルバムを制作した。80年「カルメン・マキ&LAFF」、81年ヘヴィメタルバンド「カルメン・マキ&5x」などで活動。映画『限りなく透明に近いブルー』の音楽にも参加。87年『うるさくてゴメンねLIVE』を発表後、出産し音楽活動を一時休止したが、93年に日本国籍を取得して活動再開。94年からアルバム『MOON SONGS』、『VOICES OF MOSES』、『UNISON』、『SPLIT』を発表。2000年ライブツアー『Carmen Maki 世紀末を歌う』を行う。2003年には鬼怒無月らと『Carmen Maki & Salamandre』としてアルバムを発表しライブ活動も旺盛になる。2004年は初の詩の朗読CD『白い月』をリリース。2009年、アルバム『ベルソナ』では、音楽と詩が交錯する新境地を拓いた。現在も全国各地のライブハウスを回り新旧のファンとともに独自の音楽を追求している。



## FALCON

アコースティックギターを軸にエフェクトを活かした空間的音作りによる独自の奏法が話題を呼び、ウエイウェイ・ウー(二胡)、中西俊博(vn)、カルメン・マキ(vo)、鬼怒無月(g)、マレー飛鳥(vn)等と共演。Eri Liao Trio、残歌、サイバー民族団など多数のバンドに参加、CDリリース。自然や風景を描写した作曲、様々な地域の民謡とのコラボレーション、即興演奏を軸にしたダンス、朗読、写真とのコラボレーションなど多様な音楽に取り組む。2019年2ndソロアルバム「美しき様々の夢」発売。2023年Eri Liaoと飛鳥stringsをフォーカスして作詞作曲、アレンジも手掛けて”うた”に取り組んだプロジェクト「ハルカストリングス」の作品を発売予定。